

単元	3 ならした大きさ [平均]		(4時間) 6月下旬
目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集団の特徴を表す値として平均を用いる良さに気づき、進んで活用しようとする態度を育てる。</li> <li>・平均の考えを用いて、統計的に考察したり、表現の仕方を工夫したりするようにする。</li> <li>・集団の特徴を表す値として平均を求めたり、活用したりすることができるようにする。</li> <li>・平均についての意味、見方や調べ方を理解するようにする。</li> </ul>		
単元目標と生き方探究教育との関連	<p>※平均という考え方が、社会や身近な生活にどのように生かされているのかということ話し合ったり、関心をもったりしている。(情報活用能力)</p> <p>※習得した平均に関する知識・技能を活用し、表を読み取ったり、全体の個数を求めて全体の平均を求めたりしている。(情報活用能力)</p> <p>※自分なりの根拠をノートに記述したり発表したりしながら、課題解決に主体的に取り組んでいる。(意思決定能力)</p>		
単元の評価規準	<ul style="list-style-type: none"> <li>・算数への関心・意欲・態度</li> <li>・数学的な考え方</li> <li>・数量や図形についての表現・処理</li> <li>・数量や図形についての知識・理解</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集団の特徴を表す値として平均を用いる良さに気づき、身の回りにある事柄について統計的な考察をしたり、調べようとしたりする。</li> <li>・平均の考えを用いて、身の回りにある事柄について統計的に考察したり、表現の仕方を工夫したりする。</li> <li>・集団の特徴を表す値として平均を求めたり、活用したりすることができる。</li> <li>・集団の特徴を表す値として用いられる平均の意味や求め方、調べ方を理解している。</li> </ul>	
時	学習活動 (●中心活動 ・活動内容)	○支援 *留意点	<b>評価の視点</b> (評価方法) ※準備物 →評価と関連している生き方探究教育の力
1	<p>●平均の意味と求め方を理解し、進んで調べようとする。</p> <p><b>単元の見通しをもつ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・“ならした大きさ (平均)” の意味と求め方を知り、身の回りがあるならすということについて考えたり調べたりするという単元の課題を把握する。</li> <li>・ならしたことの経験について話し合う。</li> <li>・かさの違う薬品 (色水) の入った3つの試験管をならす活動を基にして、ならす方法について考える。</li> <li>・薬品のかさをならす活動をペアで行う。</li> </ul> <p>・薬品の活動で体験したことを生かして、課題解決に取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ならした活動を計算式で考える。</li> <li>・平均について知る。</li> <li>・練習問題に取り組む。</li> </ul>	<p>○プレゼンテーションソフトを活用することにより、課題把握をすることができるようにする。</p> <p>*ペアごとに具体物を用意する。</p> <p>○ならす作業を体験することにより、平均を求める計算式を考えたときの、考える手立てとすることができるようにする。</p> <p>*平均という用語を知らせる。</p> <p>*電卓を使ってもよいこととする。</p> <p>○「平均」が活用されている場面を紹介することにより、学習していることと生活との結びつきを感じることができるようにする。</p>	<p>※プレゼンテーションソフト</p> <p>※ピーカー</p> <p>※試験管3本</p> <p>※色水</p> <p><b>知</b>「ならす」という活動を通して、平均の意味を理解している。(ノートやカードへの記述)</p> <p>→情報活用能力</p> <p>※フラッシュカード</p> <p>※電卓</p> <p><b>関</b>平均の意味がわかり、身の回りの平均について調べようとしている。(活動の様子・カードへの記述)</p> <p>→情報活用能力</p>
2	<p>●いろいろな場面で平均値を求め、それを問題解決に活用する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前時を振り返り、平均の求め方を確認する。</li> <li>・身近にある平均について考え、生活の中に平均という考え方が生かされていることを知る。</li> <li>・図書室から曜日ごとに借りた本の冊数の表から、平均の考えを用いて解決するという課題を把握する。</li> </ul> <p>・借りた冊数が0冊の日をどう判断し、その根拠は何なのかをペアで話し合い、ノートに書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・借りた冊数が0冊の日も日数に入れることを知る。</li> <li>・平均は、小数になることがあることを知る。</li> <li>・1日に借りる平均の冊数から、20日間で借りる冊数を予想する方法を考える。</li> </ul> <p>・“平均” という言葉を聞いた経験を話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・30日間の場合も考える。</li> <li>・練習問題に取り組む</li> </ul>	<p>○身近にある「図書室」での場面を設定することで、学習課題に関心をもてるようにする。</p> <p>○プレゼンテーションソフトを使って説明することにより、表の意味や題意を把握することができるようにする。</p> <p>○ペアで相談することにより、自分なりの根拠をもって自力解決に取り組むことができるようにする。</p> <p>*プレゼンテーションソフトを使って、学習のまとめを提示するようにする。</p> <p>*電卓を使ってもよいこととする。</p>	<p>※プレゼンテーションソフト</p> <p>※フラッシュカード</p> <p><b>考</b>平均を活用して課題解決する方法を、根拠を明らかにしながら考えている。(ノートやカードへの記述)</p> <p>→意思決定能力</p> <p>※電卓</p>

3	<ul style="list-style-type: none"> <li>●いくつかの部分の平均を知り、全体の平均を求めることができる。</li> <li>・いくつかの部分の平均を活用して、全体のご数を求めたあと、全体の平均を求める問題を解くことを知る。</li> <li>・全体のご数と全体の人数から、全体の平均を求める。</li> <li>・<math>(\text{全体の平均}) = (\text{全体の合計}) \div (\text{全体のご数})</math>であることから入った玉の数と玉入れに参加した全体の人数がわかれば、全体の平均がわかることを理解する。</li> <li>・練習問題に取り組む。</li> </ul>	<p>○プレゼンテーションソフトを使って説明したり、表を提示したりすることにより、<u>題意を把握しやすくなるようにする。</u></p> <p>*<u>プレゼンテーションソフトで、学習のまとめを提示する。</u></p> <p>*<u>電卓を使ってもよいこととする。</u></p>	<p>※プレゼンテーションソフト</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>㊦ <u>いくつかの部分の平均を知り、それを活用して全体の平均を求めることができる。(ノートやカードへの記述)</u></p> </div> <p>→情報活用能力</p> <p>※電卓</p>
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「自分の歩幅」の平均を求めることで、およその距離を歩幅で求める。</li> <li>・<u>自分の歩幅で、距離や長さを測ることができることを知る。</u></li> <li>・自分の歩幅を調べ、それを活用して廊下や教室、体育館などの長さを調べるという課題を知る。</li> <li>・<u>なぜ平均を出すことが大切か話し合う。</u></li> <li>・自分の歩幅を測り、平均を算出する。</li> <li>・調べた結果を発表したり、交流したりする。</li> </ul> <p>●<u>単元を振り返り、自己実現に向けての自己評価を行う。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>単元を通してがんばりカードを見返し、自分の成長が何かを考えてカードに書く。</u></li> <li>・<u>この単元で学習したことは、これからの自分の生活でどのように生かせそうかを考えて、カードに書く。</u></li> </ul>	<p>○プレゼンテーションソフトを活用することにより、課題把握をすることができるようにする。</p> <p>*ワークシートや掲示物などを見て、歩幅の平均を測る方法を知る。</p> <p>*電卓を使用する。</p> <p>○<u>調べたことの交流を行うことにより、平均の利便性に気づくことができるようにする。</u></p> <p>*<u>友だちのがんばりにも目を向けるようにする。</u></p> <p>○<u>カードを基に単元を振り返ることにより、自分の成長や困りを感じることができるようにする。</u></p>	<p>※ワークシート</p> <p>※プレゼンテーションソフト</p> <p>※方法を示した掲示物</p> <p>※電卓</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>㊦ <u>自分の歩幅の平均を進んで調べたり、長さや距離を測ろうとしたりしている。(活動の様子・ワークシートへの記述)</u></p> </div> <p>→情報活用能力</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>㊦ <u>単元を振り返り、自分の学習への気づきや困り、また、友だちの良さを見つけようとしている。(カードへの記述)</u></p> </div> <p>→自己理解・将来設計能力</p>

本時の目標

- 平均の意味がわかり、身の回りの平均について調べようとする。<関心・意欲・態度> →情報活用能力
- 「ならず」という活動を通して、平均の意味を理解する。<知識・理解> →情報活用能力

本時の展開

学習目標	「ならず」という考え方や、平均の求め方を知ろう。」		
学習展開	学習活動 (発問)	○支援 *留意点 相相談活動	評価の視点 (評価方法) ※準備物
課題設定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ならした大きさ（平均）」という考え方について学習するという単元目標を知る。</li> <li>・本時の「学習の目標」を知る。</li> <li>・がんばりカードに「この算数の時間にがんばりたいこと」を記入し、発表する。</li> <li>「ならず」というのは、どうすることかイメージできますか。</li> <li>・自分たちの「ならした経験」を話し合う。</li> <li>・「砂場をならしている様子」, 「棒を同じ長さにそろえる様子」を示した写真を見て, 「ならず」というイメージをもつ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>相指導者と相談して本時の学習目標に向けてがんばりたいことを決定する。</li> <li>*がんばることを発表し, 目標を意識するようにする。</li> <li>○プレゼンテーションソフトを使うことにより, わかりやすく「ならず」というイメージをもつことができるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>※がんばりカード</li> <li>※プレゼンテーションソフト</li> </ul>
課題解決 (ペア)	<ul style="list-style-type: none"> <li>3つの試験管に入っている液体をならしてみましよう。</li> <li>・かさの違う液体が入った3つの試験管のかさをならす活動に取り組む。</li> <li>・ペアで話し合い, ならず方法を考える。</li> <li>・どのようにならしたか発表する。</li> <li>・それぞれ, 110ml, 100ml, 150mlのかさであることを知る。</li> <li>・ならした経験を生かしながら, ならした後の1つ分のかさの求め方を考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>*具体物を操作し, 「ならず」という作業を体感する。</li> <li>*具体物をペアに準備する。</li> <li>*試験管内の液体を1つにまとめるために, 500mlビーカーを用意しておくようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>(ペアに1つずつ)</li> <li>※500mlビーカー</li> <li>※色水の入った試験管3本</li> <li>知「ならず」という活動を通して, 平均の意味を理解している。(ノートやカードへの記述)</li> </ul>
課題解決 (クラス)	<ul style="list-style-type: none"> <li>1つ分のかさが何mlになったか発表しましょう。</li> <li>・全部の合計を3等分すると, 1つ分の液体のかさ(平均)が求められることを発表する。</li> <li>・式の意味を言葉で説明する。</li> <li>・ならずという体験と平均を求める式とを関連づけながら考える。</li> <li>今日の学習をまとめましょう。</li> <li>・平均についてまとめる。 「いくつかの数量を, 同じ大きさになるようにならしたものを, それらの数量の平均といいます」</li> <li>・平均の求め方を式にまとめる。 「(平均) = (合計) ÷ (こ数)」</li> <li>・指導者のならず演示を見ることで, 学習したことをもう一度整理する。</li> <li>・適応題に取り組む。(ほー26②の問題)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ならず作業を体験することにより, 平均を求める計算式を考えるときに, 考える手立てとすることができるようにする。</li> <li>○プレゼンテーションソフトを使ったり, 前で演示したりして, 活動と計算式とを対応させて説明することにより, 平均の求め方をわかりやすく理解することができるようにする。</li> <li>*電卓を使ってもよいこととする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【情報活用能力】</li> <li>“ならず体験”と, “平均を求める式”とを関連づけて, 平均を理解している。</li> <li>※電卓</li> <li>※プレゼンテーションソフト</li> <li>関平均の意味がわかり, 身の回りの平均について調べようとしている。(活動の様子・カードへの記述)</li> </ul>
振り返り	<ul style="list-style-type: none"> <li>今日の学習を振り返りましょう</li> <li>・がんばりカードに, この時間でわかったことやがんばったこと, 困ったことを書く。</li> <li>次の時間にがんばりたいことを書きましょう。</li> <li>・次の算数の時間にがんばりたいことを書く。</li> <li>・がんばりカードを提出する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学習の振り返りをする事により, その時間の自分の理解や困りに気づくことができるようにする。</li> <li>相友だちや指導者と相談し, 学習の目標やがんばり, 困りを振り返ったり, 次時にがんばりたいことを考えたりする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【情報活用能力】</li> <li>“平均”が, 生活のどんな場面で見られているのか進んで考えようとしている。</li> </ul>

本時の目標

○平均を活用して課題解決する方法を、根拠を明らかにしながら考えるようにする。<数学的な考え方> →意思決定能力

本時の展開

学習目標	「平均を出してから、その平均を使って問題をとこう。」		
学習展開	学習活動 (発問)	○支援 *留意点 相相談活動	評価の視点 (評価方法) ※準備物
課題設定	<p>平均を出してから、その平均を使って、計算してみよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>本時の学習の目標を知る。</li> <li>がんばりカードに「この算数の時間にがんばりたいこと」を記入する。</li> <li>平均の求め方について振り返る。</li> <li>「平均点」について考え、平均点が小数であることを知る。</li> </ul> <p>図書室で借りた本のさつ数の問題です。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>Pはー27㉓の問題と表をノートに写す。</li> </ul>	<p>相指導者と相談して本時の学習目標に向けてがんばりたいことを決定する。</p> <p>○身近にある「図書室」での場面を設定することにより、学習課題に関心をもつことができるようにする。</p> <p>*掲示物などで、平均の求め方について振り返る。 *平均の場合、小数になる場合もあることを知る。</p> <p>○プレゼンテーションソフトを使って説明することにより、表の意味や題意を把握することができるようにする。</p>	<p>※がんばりカード</p> <p>※平均をまとめた掲示物</p> <p>※プレゼンテーションソフト</p>
(個別・ペア) 課題解決	<p>1 日の平均を自分なりの考えを大切にしながら、求めよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自力解決に取り組む。</li> <li>図や言葉でわかりやすく自分の考えを説明できるように、説明の仕方を考える。</li> </ul> <p>0 さつの日をどのように考えましたか。ペアで話し合ひましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ペアで0 さつの日をどう扱い、どのような式を立てたか話し合う。</li> </ul>	<p>○プレゼンテーションソフトを使って前時の活動を想起させることにより、根拠をもって自力解決に向かうことができるようにする。</p> <p>*「先週」というのは月～金の5日間であることを明らかにする。</p> <p>○ペアで相談することにより、自分なりの根拠をもって自力解決に取り組むことができるようにする。</p>	<p>※プレゼンテーションソフト</p>
課題解決 (ペア・クラス)	<p>自分の考えを發表しましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>借りた冊数が0冊の日をどう扱ったのか、根拠を明確にしながら、自分の考えを發表する。</li> <li>冊数であっても小数の答えでよいことを知る。</li> </ul> <p>求めた平均を使って、20日間では借りるさつ数が約何さつになるか考えよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1日の平均がわかれば、20日間で借りるおよその冊数がわかることを知る。</li> <li>(平均) × (回数) = (全体の数)</li> <li>30日間(ひと月)に借りる冊数を求めてみる。</li> </ul> <p>適応題を解きましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>Pはー27㉔の問題を解く。</li> <li>答え合わせをする。</li> </ul>	<p>*自分の考えを明らかにして、根拠を説明する。</p> <p>○身近にある平均として、平均点を例に挙げたことを想起させ、平均点も小数になることがあることを取り上げることにより、平均は小数になることがあるということを理解することができるようにする。</p> <p>*ペアで話し合うようにする。 *言葉の式を掲示する。 *プレゼンテーションソフトを使って、学習をまとめるようにする。 *電卓を使ってもよいこととする。</p> <p>○20日間以外の日数でも考えることにより、より平均を活用することができるようにする。</p>	<p>※電卓 ※プレゼンテーションソフト ※フラッシュカード</p> <p>④ 平均を活用して課題解決する方法を、根拠を明らかにしながら考えている。(ノートやカードへの記述)</p>
振り返り	<p>平均という言葉は今までに聞いたことはありますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>“平均”という言葉聞いた経験を話し合う。「平均気温」「平均点」「平均寿命」など</li> </ul> <p>今日の学習を振り返りましょう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>がんばりカードに、この時間でわかったことやがんばったこと、困ったことを書く。</li> </ul> <p>次の時間にがんばりたいことを書きましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>次の算数の時間にがんばりたいことを書く。</li> <li>がんばりカードを提出する。</li> </ul>	<p>○テストの平均点を紹介することにより、身近なことにも平均という考え方が生かされていることを知るができる。</p> <p>○学習の振り返りをする事により、その時間の自分の理解や困りに気づくことができるようにする。</p> <p>相友だちや指導者と相談し、学習の目標やがんばり、困りを振り返ったり、次時にがんばりたいことを考えたりする。</p>	<p>【意思決定能力】 自分なりの根拠をもって、課題解決に主体的に取り組もうとしている。</p>

本時の目標

〇いくつかの部分の平均を知り、それを活用して全体の平均を求めることができる。<表現・処理>→情報活用能力

本時の展開

学習目標	「順番に気をつけて、平均を求める問題をとこう。」											
学習展開	学習活動 (発問)	〇支援 *留意点 相相談活動	評価の視点 (評価方法) ※準備物									
課題設定	<p>順番に気をつけて、平均を求める問題をとこう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本時の学習の目標を知る。</li> <li>・がんばりカードに「この算数の時間にがんばりたいこと」を書く。</li> <li>・平均から全体の数を計算する方法を想起する。</li> </ul> <p>問題</p> <p>赤組と白組で玉入れをしました。 赤組の人数は11人で1人平均5こ入れました。 白組の人数は9人で1人平均6こ入れました。 赤組と白組のどちらが多く玉を入れましたか。</p>	<p>相指導者と相談して本時の学習目標に向けてがんばりたいことを決定する。</p> <p>*平均を使って、全体の数を求める方法を想起する。</p> <p>〇どちらが多く玉を入れたかということに着目することにより、部分の平均から、全体の数を求める必要性を感じることができるようにする。</p> <p>〇プレゼンテーションソフトを使って説明したり、表を提示したりすることにより、題意を把握することができるようにする。</p>	<p>※がんばりカード</p> <p>※前時のフラッシュカード</p> <p>※プレゼンテーションソフト</p> <p>※表</p>									
課題解決 (個別)	<p>式を立てましょう。出てきた答えが何を表すのか言葉で書きましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・かける数とかけられる数に気をつけながら立式する。</li> </ul> <p>式の立て方に気をつけて問題を解きましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・かける数、かけられる数に気をつけながら式と答えを考える。</li> <li>・自分の考えを発表する。</li> </ul> <p>問題</p> <p>玉入れに参加した子どもたち全員では、1人平均何こになるでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全体の数と全体の合計を出して、平均を求めることを知る。</li> </ul>	<p>表</p> <table border="1" data-bbox="751 925 1134 1025"> <thead> <tr> <th></th> <th>人数</th> <th>1人平均のこ数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>赤組</td> <td>11人</td> <td>5こ</td> </tr> <tr> <td>白組</td> <td>9人</td> <td>6こ</td> </tr> </tbody> </table> <p>〇接続語を意識させることで、順序立てて解決することの見通しをもつことができるようにする。</p> <p>*かけ算の式について、かけられる数とかける数に注目するようにする。</p> <p>*順番に気をつけて問題に取り組むようにする。</p>		人数	1人平均のこ数	赤組	11人	5こ	白組	9人	6こ	<p>※「まず」「次に」「だから」のフラッシュカード</p>
	人数	1人平均のこ数										
赤組	11人	5こ										
白組	9人	6こ										
課題解決 (クラス)	<p>自分の考えを発表しましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の考えを、根拠を明らかにしながら順序立てて説明する。</li> <li>・「まず」赤組、白組のそれぞれの入れた玉の数を計算する。「次に」人数の合計と、入った玉の数の合計を出す。「だから」以下のように計算すると、全体の平均が求まる。 (全体の合計) ÷ (全体の人数) = (全体の平均)</li> <li>・プレゼンテーションソフトを見て、この問題の解き方を確認する。</li> </ul> <p>適応題を解きましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・P 1-28 ⑥</li> <li>・答え合わせをする。</li> </ul>	<p>*プレゼンテーションソフトを使って、解き方をまとめたり、本時の学習をまとめたりする。</p> <p>*電卓を使ってもよいこととする。</p> <p>*「玉入れ」の問題の考え方を活用しながら、「幅跳び」の問題を解くようにする。</p>	<p>※プレゼンテーションソフト</p> <p>※電卓</p> <p>表 いくつかの部分の平均を知り、それを活用して全体の平均を求めることができる。(ノートやカードへの記述)</p> <p>【情報活用能力】 平均の考え方を活用して全体の個数を求め、そこから全体の平均を求めようとしている。</p>									
振り返り	<p>今日の学習を振り返りましょう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・がんばりカードに、この時間でわかったことやがんばったこと、困ったことを書く。</li> </ul> <p>次の時間にがんばりたいことを書きましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・次の算数の時間にがんばりたいことを書く。</li> <li>・がんばりカードを提出する。</li> </ul>	<p>〇学習の振り返りをするることにより、その時間の自分の理解や困りに気づくことができるようにする。</p> <p>相友だちや指導者と相談し、学習の目標やがんばり、困りを振り返ったり、次時にがんばりたいことを考えたりする。</p>										

本時の目標

- 自分の歩幅の平均を進んで調べたり、長さや距離を測ろうとしたりする。〈関心・意欲・態度〉 →情報活用能力
- 単元を振り返り、自分の学習への気づきや困り、また、友だちの良さを見つけようとする。〈関心・意欲・態度〉

→自己理解・将来設計能力

本時の展開

学習目標	「自分の歩幅の平均を求めて、それを使って長さを測ろう。」		
学習展開	学習活動（発問）	○支援 *留意点 相相談活動	評価の視点（評価方法） ※準備物
課題設定	<p>平均の考え方を使って、自分の歩幅を求め、いろいろな長さを測りましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本時の学習の目標を知る。</li> <li>・がんばりカードに「この算数の時間にがんばりたいこと」を記入する。</li> </ul> <p>ワークシートで調べる方法を確認しましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・5回分の記録の平均を計算することを覚える。</li> </ul> <p>なぜ平均をはかる必要があるのですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平均を求める意味について考える。</li> <li>・単位変換に気をつけて、計算する。</li> </ul> <p>自分の歩幅を知っていると、どんなときに便利ですか。</p>	<p>相指導者と相談して本時の学習目標に向けてがんばりたいことを決定する。</p> <p>○プレゼンテーションソフト活用することにより、課題把握をすることができるようにする。</p> <p>*電卓を使ってもよいこととする。 *単位変換の計算の仕方を提示する。</p> <p>*自分の歩幅がわかれば、メジャーがなくても、いろいろな距離を測ることができることに気づくようにする。</p>	<p>※がんばりカード</p> <p>※歩幅の測り方を説明したプレゼンテーションソフト</p> <p>※ワークシート</p> <p>※電卓</p> <p>※○m○cm→○○cmという単位換算の仕方を書いた掲示物</p>
課題解決（個別）	<p>実際に調べてみましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・20歩歩いたときの距離を調べる。</li> <li>・ワークシートに調べたこと表にまとめる。</li> <li>・指導者や班で相談しながら、自分の平均を算出する。</li> <li>・指導者にチェックをもらう。</li> </ul> <p>自分の歩幅を活用して、いろいろな長さを測ってみましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体育館にあるものの長さを歩幅で測り、ワークシートに記録する。</li> </ul>	<p>*個人で活動する。</p> <p>相 計算方法や、記録の仕方がわからない場合は、指導者が友だちに相談し、確認する。</p> <p>*算出結果をチェックし、つまづきを逃さないようにする。</p>	<p>※巻尺</p> <p>関 自分の歩幅の平均を進んで調べたり、長さや距離を測ろうとしたりしている。（活動の様子・ワークシートへの記述）</p>
課題解決（クラス）	<p>調べてわかったことを発表しましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歩幅を使ってどのようなものを測ったのか発表する。</li> <li>・結果を交流して、歩幅を知ることの便利さを確認する。</li> <li>・これから、自分の歩幅を使ってどのようなものの長さを測りたいかを話し合うようにする。</li> </ul>	<p>○歩幅を使ってももの長さや距離を測ったことを交流することにより、平均で歩幅がわかったことの利便性に気づくことができるようにする。</p>	<p>【情報活用能力】</p> <p>平均という考え方で、歩幅を調べる活動を通して、学習したことと身近な生活とのつながりに関心をもっている。</p>
振り返り	<p>今日の学習を振り返りましょう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歩幅を使って距離を測った感想を交流する。</li> <li>・がんばりカードに、この時間でわかったことや困り、これからの生活でいかしたいこと書く。</li> </ul> <p>この単元をふり返って、どんな成長が自分にあったかを考えましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「できるようになったこと」「わかるようになったこと」「克服したこと」などをがんばりカードに書く。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・がんばりカードを提出する。</li> </ul>	<p>相 単元を通してわからないところなどの困りがあった場合は、指導者や友だちと相談し、自分のできる方法で困りを解消できるようにする。</p> <p>*単元を通して以下のことを振り返り、次の学習に生かすことができるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習の目標に対して</li> <li>・自分のがんばりや困り</li> <li>・この単元で学習したことをどのように自分の生活に生かすかということ</li> <li>・単元を通しての自分の成長</li> </ul>	<p>関 単元を振り返り、自分の学習への気づきや困り、また、友だちの良さを見つけようとしている。（カードへの</p> <p>【自己理解・将来設計能力】</p> <p>単元を通しての自分のがんばりや困り、友だちの良さに気づいたり、次の単元の目標設定をしたりしている。</p>

学習の目標 「“ならず” という考え方や、平均の求め方を知ろう。」

「ならず」ってどういうこと?

「砂場の砂」「ジュースを入れるとき」

ジュースをならしてみましよう。

<児童の考えた計算式>

平均

「いくつかの数量を、同じ大きさになるようにならしたもの」

↓ ↓

(平均) = (合計) ÷ (こ数)

シリンダー      試験管の数

学習の目標 「平均を出してから、その平均を使って問題をとこう。」

**問題** 先週の月曜日から金曜日までの間に、5年1組の人が、図書室から借りた本のさつ数を調べたら、次のようでした。

ア. 先週は、1日平均何さつ借りたことになりますか。  
 $(6+7+5+0+8) \div 5 = 26 \div 5 = 5.2$   
 答え 5.2 さつ

イ. 5年1組では、今月の20日間の貸し出し日に、約何さつの本を借りると考えられますか。  
 $1 \text{ 日の平均 } 5.2 \text{ さつに } 20 \text{ 日をかける}$   
 $5.2 \times 20 = 104$       答え 104 さつ

曜日	月	火	水	木	金
さつ数	6	7	5	0	8

借りたさつ数が0の日は、どうしますか。

ジュースで考えたら、からのグラスがあっても、そのグラスにも注がなくてはいけないから。

0の日もこ数として、数に入れる。  
月～金は5日間あるから。

答えが小数だけど・・・

平均は、だいたい (およそ) の数だから、答えが小数になることもある。

学習の目標 「全体の平均の求め方を考えて、順番に気をつけて問題をとこう。」

**問題**

赤組と白組で玉入れをしました。  
 赤組の人数は11人で1人平均5こ入れました。  
 白組の人数は9人で1人平均6こ入れました。  
 赤組と白組のどちらが勝ちましたか。  
 また、玉入れに参加した子どもたち全体では、1人平均何こ入れたことになりますか。

まず      次に      だから

この接続語を使って問題をときましよう。

	人数	1人平均のこ数
赤組	11人	5こ
白組	9人	6こ

まず  
それぞれの組の入った玉の数を求める。  
 $5 \times 11 = 55$ …赤組  
 $6 \times 9 = 54$ …白組      赤組の勝ち

次に  
全体の人数の合計と、全体の入った玉の数を求める。  
 $11 + 9 = 20$        $55 + 54 = 109$

だから  
 $109 \div 20 = 5.45$   
 答え 5.45 こ

名前

学習の目標

「自分の歩幅の平均を求めて、それを使って長さを測ろう。」

**1** 自分の歩幅の測り方

- ①20 歩，歩く。
- ②歩いた長さを巻じゃくで測る。
- ③20 でわって，1 歩の歩幅を求める。
- ④ 5 回測る。
- ⑤歩幅の平均を求める。

**2** (合計…歩いた長さ) ÷ (回数…歩数) = (平均…歩幅)

回数	1	2	3	4	5
歩いた長さ	m    cm	m    cm	m    cm	m    cm	m    cm
歩幅 (cm)	÷20	÷20	÷20	÷20	÷20

**3** 歩幅の平均を計算しましょう。(式)

**4** 自分の歩幅の平均 (cm)

先生のチェックをもらう

**5** 自分の歩幅を使って、いろいろな長さを測りましょう。(平均) × (回数) = (合計…長さ)

測ったもの	計算した長さ (式・答え)